

(四) 中医学的治療

この病気は、伝統的な中国医学の「疫」病のカテゴリーに属し、病気の原因は「疫戾」であり、病気、地域の気候特性、及びそれぞれの身体状態に合わせ、下記処方を参照しながら弁証論治で治療を行うことができる。薬典の用量を超える場合は、医師の指導の下で使用すべきである。

1. 医学観察期

臨床所見 1: 胃部不快感を伴う全身倦怠感

推奨中成薬: 藿香正気膠囊(丸、水、口服液)

臨床所見 2: 発熱を伴う全身倦怠感

推奨中成薬: 金花清感顆粒、連花清瘟膠囊(顆粒)、疏風解毒膠囊(顆粒)

2. 臨床治療期(確診病例)

2.1 清肺排毒湯

適用範囲: 軽症、中等症、重症の治療に適しており、そして超重症患者の実際の状況を鑑み、組み合わせて治療を行う。

基礎方剤: 麻黄 9g、炙甘草 6g、杏仁 9g、生石膏 15~30g(先に煎じる)、桂枝 9g、沢瀉 9g、猪苓 9g、白朮 9g、茯苓 15g、柴胡 16g、黄芩 6g、姜半夏 9g、生姜 9g、紫菀 9g、冬花 9g、射干 9g、細辛 6g、山藥 12g、枳実 6g、陳皮 6g、藿香 9g。

服用方法: 伝統中薬飲片、水で煎じて服用。1日一付、早晚2回(食後40分)、温服、三付で1クール。

条件が許せば、毎回薬を服用後加えて大米湯を茶碗半杯飲むべきであり、舌乾、津液虚損した者は茶碗一杯飲むべきである。(注意: 発熱がない場合は石膏の量を少なくし、発熱があつたり高熱の場合、それに合わせて石膏の量を増やすべきである)。症状が改善しても治癒しない場合は2クール目を試す。2クール目は実際の状況、基礎疾患に応じて変更する。症状が消失すれば中止すべきである。

処方出典: 中国国民健康医療委員会 中国中薬管理局《新型コロナウイルス肺炎の治療に「清肺排毒湯」を使用する中西統合治療の推奨に関する通知》(中国中薬医政函〔2020〕22号)

2.2 軽症

(1) 寒湿郁肺証

臨床所見: 発熱、全身倦怠感、周身酸痛、咳嗽、喀痰、胸緊憋気、納呆、悪心、嘔吐、大便粘膩不爽。舌質淡胖齒痕または淡紅、苔白厚腐膩または白膩、脈濡または滑。

推奨処方: 生麻黄 6g、生石膏 15g、杏仁 9g、羌活 15g、葶藶子 15g、貫衆 9g、地竜 15g、徐長卿 15g、藿香 15g、佩蘭 9g、蒼朮 15g、雲苓 45g、生白朮 30g、焦三仙各 9g、厚朴 15g、焦檳榔 9g、煨草果 9g、生姜 15g。

服用方法: 1日1剤、600mLの水で煎じる、分3服用、朝昼夕各1回、食前服用。